

3学期もがんばります！～めあての発表～

1月16日（月）、各学年の代表児童が「3学期のめあて」を発表しました。（インフルエンザが流行して いたため、校内放送で行いました。）3学期も、子どもたち一人ひとりが、自分の夢やめあてに向かって、持てる力を存分に發揮することができるよう、教職員一丸となって指導を進めていきたいと思います。

保護者の皆さん、地域の皆さん、変わらぬご協力・ご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

各学年の代表児童のめあてを紹介します。

【1年 代表】 ① 1年生で習う漢字を全部書けるようにしたいです。 ② 漢字を使って作文を書きた いです。 ③ なわとびをがんばりたいです。 ④ 一日も休まないで登校したいです。

【2年 代表】 ① 漢字検定に合格したいです。 ② あやとびをがんばります。

③ 休まないで登校したいです。手洗い、うがいをしっかりします。

【3年 代表】 ① 学年のまとめをがんばりたいです。 ② 学力テスト、
漢字検定をがんばりたいです。 ③ 忘れ物をしないようにしたいです。

【4年 代表】 ① 漢字検定をがんばります。 ② 自学をがんばります。

小数のかけ算・わり算をがんばります。 ③ あいさつを気持ちを込めましたいです。

④ 二重跳びで30回以上跳びたいです。

【5年 代表】 ① なわとび大会に向けてがんばりたいです。 ② 漢字
検定に向けてがんばりたいです。 ③ 下級生のめんどうをよく見たいです。

【6年 代表】 ① 漢字検定、学力テストをがんばりたいです。 ② なわとび大会に向けてがんばりた
いです。 ③ 手洗い・うがいをして、かぜをひかないようにしたいです。 ④ 一日一日を大切にして、
悔いのないように過ごしたいです。



社会を明るくする運動 福島県作文コンテスト 優秀賞！

社会を明るくする運動にかかる「田村地区作文コンテスト」で入賞した6年生の作品は、福島県推進委員会のコンテストに推薦され、その結果、みごと「福島県推進委員会 優秀賞」を受賞しました。県内の各地区から推薦された小学生の161点の作品の中から、優秀賞（5点）に選ばれました。

1月17日に田村地区保護司会などの方々が来校され、表彰状ならびに記念品を授与してくださいました。

賞状の表彰者名は、福島県推進委員会委員長の内堀雅雄 福島県知事です。

受賞おめでとうございました。



「明るい家庭から明るい地域」

小野町立夏井第一小学校 六年

「おはよう。」

私の一日は、あいさつで始まります。時には、ねむくて声が小さくなってしまうけど、きちんと家族全員にあいさつをします。家族の一人ひとりが、朝食を食べていても、新聞やテレビを見ていても、必ず家族の顔を見て、「おはよう。」とみんな笑顔であいさつを返してくれます。一日の始まりはあいさつからとよくいわれていますが、私は家庭での習かんで実感することができます。

私の学校では、集団登校をしていて学校までの二十分くらいの間に地域のおじいちゃん、おばあちゃんたちと必ずあいさつをします。自分も低学年のころから高学年の人におしゃべられていて、六年生である私も、今年入学した一年生に教えました。今では、一緒に登校している九人の友達は大きな声であいさつを行っています。地域の人たちは、知っている家であろうと、そうでない家の子であろうと、必ず優しくあいさつを返してくれます。私もそんな時、例えその日に学校行事があって、きん張をしていたり、「学校に行きたくないなあ。」と不安になっていたりしても、地域の人たちの優しい声に元気をもらって、がんばって一日乗り切ろうという気持ちになることができます。多分、一緒に登校している友達もそう思っているはずです。

学校に着くと、必ず先生方が大きな声であいさつをしてくださいます。きっと先生方も、その日の私達の「おはようございます。」の一言で、表情や声の大きさを觀察し、体調が悪い子がないのか、ちゃんと朝食を食べてきたか、その日一日、

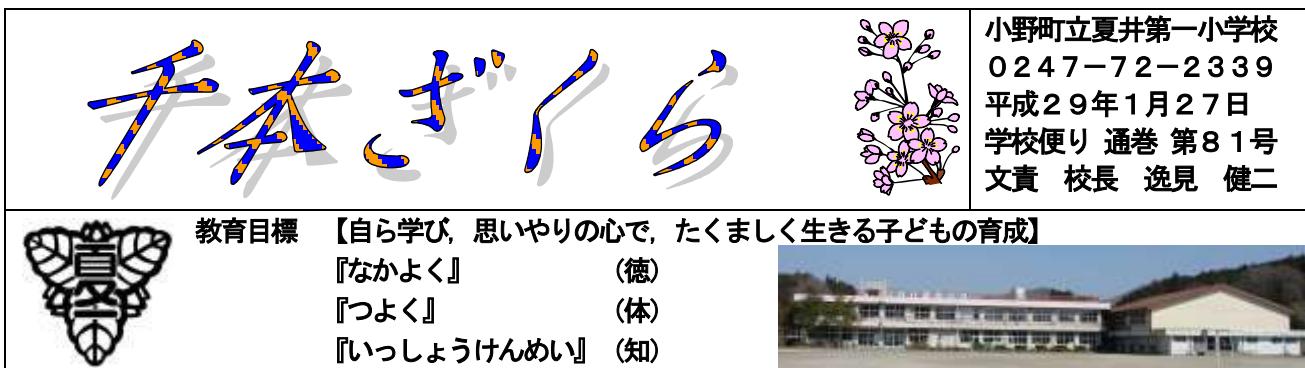
学校で元気に過ごせるかななどを考えててくれているのかなと思います。

あいさつは、一日の始まりに欠かせないだけでなく、学校での勉強や運動、行事、クラブなどの気合を入れるのにも役立つていると思います。

私のクラスは、五、六年生合わせて十六人と小さな学級ですが、みんなとても仲良いいじめなどもありません。それはどうしてかというと、日々の学校でのあいさつを心がけているからだと思います。困っているときに助けてもらったら、「ありがとうございます。」などと、おたがい悪いことをしてしまった時は、「めんなさい。」などと、みんな笑顔であいさつを返してくれます。学校での生活の中であいさつすることは多く、みんな必ず顔を見て行っています。その人の気持ちになり、心をこめてあいさつをしているからこそ、けんかやいじめがないのだと思います。今、都会では、子どもが事件の対象になってしまことがテレビや新聞で全國などに報道されています。私は、あいさつをしないとしゃべらなくなったり、友達がさきにくくなったりすると思います。友達がいないと、家の中でもしゃべらなくなり、家族にも相談できなくなります。その悪えいきょうによって、子どもがまきこまれる事件やいじめに発展してしまったのではないかと考えます。だからこそ、私が住んでいる地域で行っている「小さな子どもからお年寄りまで、自分から進んで元気なあいさつ」を大切にしていかなければならぬと感じました。

あいさつは、人と人との仲良くさせ、たがいの心を明るくするものだと自分の地域を振り返って感じました。

社会を明るくするための第一歩として、相手が元気になるように、自分から進んであいさつを行うことが大切だと思います。朝の「おはよう。」からのあいさつが、地域や学校を明るくし、それが社会全体に広がってくれることを願って、私はこれからもあいさつを一言一言大切に行なっていきたいと思います。



「田村地区教職員研究物展」において、「特選」を受賞

本年度、子どもたちの学力向上や健やかな成長に向けて、教職員一丸となって、日々の教育活動を充実させるとともに、校内研修の充実を目指した取り組みを推進してきました。その継続した実践研究により、校内研修・授業研究会が大変充実し、教職員の指導力・授業力の向上につながりました。その結果、子どもたち一人ひとりに基礎的・基本的な学習内容、表現力・活用力などを身につけさせることができ、学力の向上を図ることができました。次頁で紹介します『福島県学力調査』の結果からも、確かな学力が身についてきていることが伺えると思います。

今年度の研修の足跡につきましては、研修主任を中心に、全職員の研究実践を研究論文としてまとめ、「田村地区教職員研究物展」に出品しました。その結果、厳正な審査の上、本校の共同研究は「特選」を受賞しました。また、個人研究として実践をまとめて出品し、特選、入選を受賞した教諭は、以下のとおりで、素晴らしい結果となりました。今回の受賞を機に、「子どもたちのために」を合言葉に、全職員でさらに研修に取り組んで参りたいと思います。

○ 特 選 小野町立夏井第一小学校（共同研究）

研究主題 「算数的活動を通して、自分の考えを豊かに表現しながら、友達と学び合い、高め合う子どもの育成」

○ 特 選 第三学年担任

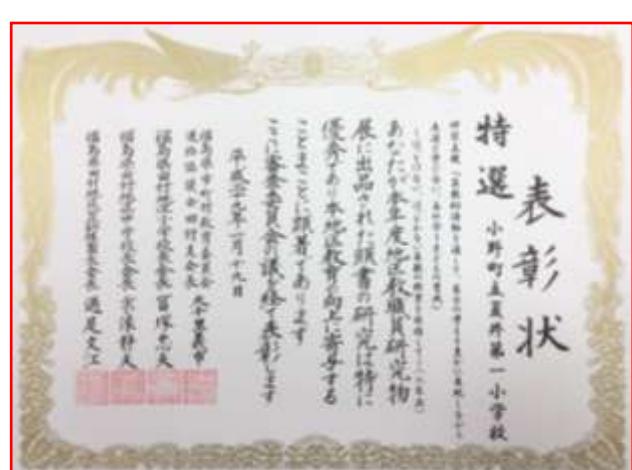
研究主題 「自分の考えをもち、伝え合うことができる子どもの育成」

○ 特 選 養護教諭

研究主題 「児童の望ましい生活習慣の確立を目指して」

○ 入 選 第四学年担任

研究主題 「科学的思考力・表現力を育むための指導の在り方」



目標に向かって！～なわとび、漢字検定～

2月8日（水）の「なわとび記録会」、10日（金）の「漢字検定」に向けて、子どもたちは今、合格を目指して、一生懸命練習に取り組んでいます。漢字検定は2年生以上が受検します。『漢検問題集』を活用しながら、自主学習等で熱心に取り組んでいます。なわとび記録会では、1回旋1跳躍跳びを、低・中・高学年それぞれ3・4・5分間跳ぶことができれば合格です。学年の自由種目や学年ごとの長縄跳びにも挑戦します。ご家庭でも、ぜひ励ましていただき、当日は子どもたちの応援に来ていただければ幸いです。

1月18日～20日の3日間、インフルエンザのため学年閉鎖をした2年生も全員元気に登校して、学習やなわとび大会に向けての練習に熱心に取り組んでいます。

学年閉鎖の期間中の、各ご家庭でのご協力・ご配慮に心より感謝申し上げます。



「福島県学力調査」（5年生）、好成績を収める

昨年11月に5年生を対象に実施されました「福島県学力調査」の結果が公表されました。

本校の正答率は、国語・算数・理科すべての教科において、福島県、県中地区の正答率と比較して上回っており、確かな学力が身についていることが伺える結果でした。

子どもたちの日頃の意欲的で真剣な学習態度、日々熱心に取り組んでいる家庭学習（自習学習）の取り組み、また、先生方の個に応じたきめ細かな指導、デジタル教科書（電子黒板）等のＩＣＴを効果的に活用した授業の充実などが好成績を収めた要因であると考えています。

学力向上には、学校の授業のみならず、家庭学習（自習学習）が重要であります。今後も、充実した家庭学習（自主学習）を継続することができるよう、各ご家庭におきまして励ましの言葉をお願いいたします。

